街角の異郷〈リスボン〉

フェルナンド・ペソアのことを説明しようとすればするほど、まったく違う人物について喋ってしまったような気分になる。彼の言葉の中で気に入った一節を思い返すとき、実はそれは彼自身のものではなくベルナルド・ソアレスだったりアルバルト・カエイロだったり、リカルド・レイスやアルヴァロ・デ・カンポスだったりして、それら全ての言葉が錯綜した状態で《ペソアのようなもの》として記憶に残っていることに気づく。ところで、勘いよく人名を連ねてしまったが、これらの名前はペソアの内部において生まれては死んでいった他者――しかもあたかも実在していたかのような経歴のある《異名者》たちである。ペソアではある／が違う存在／でもペソア――？さあ、この時点でもう迷会。

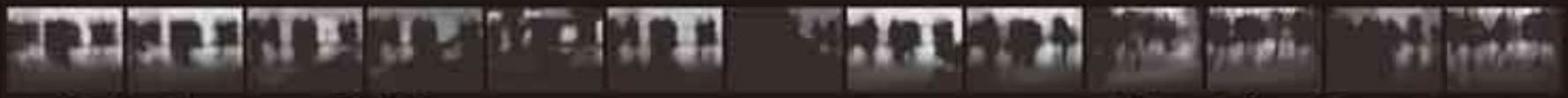
幼少期の孤独を慰める友達だった《異名者》は、いつしかペソアの中で文学上における方法論にまで高められる。彼は生涯に70以上もの《異名者》を生み出し、それぞれに独自の思想や経歴を持たせ、語らせた。本来であれば剥奪された一個の魂を結ぶべきはずの作家性を、彼は《異名者》の数だけ砕いていく。増えれば増えるほど当のペソア自身の言葉は相対し無個性になり、まるで現代人に先駆けたかのように「人間の細分」を体現したペソアに対して、作家論だとか解釈といった旧態でテクストを読み解くことは難しいんじゃないか、読解の不可能性、ただの古典だと思って近づくと痛い目にあう。

増殖し続ける《異名者》たちに囲まれながら、その傍らでポルトガルや首都リスボンの紹介をすることに、若き日のペソアが所と運動とまで呼べるほどの情熱を注ごうとしていた事実は興味深い。軽快な口調で綴られたリスボンの観光案内もまた『不穏の書』ではないだろうか、彼であれ《異名者》であれ、《ペソアのようなもの》が語る場所としての《リスボン》を思考してみる。ヴェンダースの『リスボン物語』みたいに街角あたりでペソアに遭遇できたらいいのだけれど。

鹿島 将介

【フェルナンド・ペソア Fernando Antonio Nogueira Pessoa（1888－1935）】

ポルトガルの首都リスボンに生まれる。リスボン大学文学部中退。自費の出版を機に雑アヴァンギャルド誌（後述）、および個人雑誌を発行するも頓挫。貿易会社でタイピストとして働くことによって生計を立てた。1914年1月8日、自身の誕生日の翌日にアルバルト・カエイロ、次に彼の弟子となるアルヴァロ・デ・カンポス、リカルド・レイスら《異名者》が現れる。特筆には《異名者》ベルナルド・ソアレスの『不穏の書』を執筆開始。以降、これらの《異名者》たちとの「複数形の遊戯」が繰り広げられることになる。一生のうちに生み出した《異名者》は70名を超える。主観から客観へと多様な形態に目移りする複雑な人格としていく中、ポルトガルやリスボンを題材に据える運動を展開するも個性、詩誌『カイエ』を創刊するなど、当時の前衛芸術運動の中心として活躍するが、生前出版されず終えてしまった。生前刊行にいたったものは英語で書いた詩集二冊と詩集『メンセージョン』（1934年）一冊のみ。1935年没、死後、全集一冊の他数冊の発見され、それらは現在も研究・編集・出版され続けている。



Lisbon @ Pessoa

リスボン@ペソア

出版：「断編 不穏の書、断章」（平凡社）
著者：フェルナンド・ペソア
翻訳：澤田 直
構成／演出：鹿島 将介
出演：稲川 実城　井上 美香　徳岡 敦宣　立本 夏山　原木 夕佳
[illegible]

BankART 1929

チケット

前売一般 2,500円　学生割引（前予約） 2,300円　当日 3,000円
一般ペア割引（前売当日問わず2枚セット） 4,000円
※一般ペア割引は、学生割引との併用はできません。ご了承下さい。

ご予約・お問い合わせ先

Tel. 080-3750-1069（受付時間 10時～20時）
E-mail. info@jyuuryoku-note.com

[illegible]

横浜公演　6月13日(木)～6月16日(日)

会場：BankART Studio NYK / NYK ホール

開演時間　13日(木)　14日(金)　15日(土)　16日(日)
14:00　●　●
19:00　★　
19:30　●　●

【ポストトークゲスト】
6月14日 19:30　渡辺 一史（北海道ボストガルの大使館職員／ペソア研究者）
6月15日 19:00　三浦 基（演出家／地点代表）
6月16日 14:00　山田 亮太（詩人／TOLTA）

仙台公演　6月20日(木)～21日(金)

会場：せんだい・演劇工房10-BOX box-1

開演時間　20日(木)　21日(金)
14:30　●　●
19:00　●　●

★★印はポストトークを予定しています。
ゲストについては調整中にて随時紹介していきます。
※受付開始は開場の30分前、開場は15分前です。

公式サイト　http://www.jyuuryoku-note.com/
facebook　https://www.facebook.com/jyuuryokuNote
Twitter　@Note1069　[illegible]
[illegible]

【協力／Noted.】

東京を拠点に活動、世界と人間を取り巻く様々な関係を記述した《論》を提示し、それらを通じて鑑賞とともに世界と人間とのあいだにある距離について思考していくことを目的としている。活動は「『記述された経験』への問いの先送り作業である」とし、人類史上において最も特化な経験を持っている作家／テキストを中心に取りあげながら、国家形成の可能性を探究している。映像や音楽や舞台芸術といった複数としてそこにある素材や、声・音・光・時間などといった孤独を残さない素材を重視して、存在の生成と消失の瞬間を記述していく。これまでに『ものがたり』（08）、『アロロの声 ’17』（09）、『複製＊多公衆号（1933”1983／1983”2013）』（13）、『アリエル アクアラム第3作品『複』』（14）を発表。2017年はフェルナンド・ペソア『夏目漱石、半山俊司』のテクストに取り組む。

アクセス

BankART Studio NYK／NYKホール
〒231-0002 横浜市中区海岸通4-9 NYK-Annex 2F
URL. http://www.bankart1929.com
[illegible]
[illegible]
※車でお越しの際は、近隣の有料駐車場をご利用ください。

せんだい演劇工房10-BOX
〒984-0015 宮城県仙台市若林区河原町1-3-7 Tel. 022-782-7114
URL. http://www.gekiba.jp/
[illegible]
[illegible]